

**食品安全研究会**

**【食品リスク研究部会】**

<p>1, 2 月</p>	<p>1. ワーキンググループ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品リスク評価新技術勉強会 (WG2) : ① ILSI Europe との動物実験代替推進に向けた協働について JaCVAM 運営委員会にて協力を要請、国衛研として協力いただけることとなった。② リードアクロスについて独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) と 5/18 に意見交換会を実施することとなった。</li> <li>・ 食品リスク評価課題解決 (WG3) : 高齢者を考慮した食品の安全性評価に関わる課題について議論、整理継続中。</li> </ul> <p>2. 次回部会開催予定</p> <p>日時: 2018年4月27日 13:30-15:00</p> <p>場所: 協和発酵バイオ東京支店バイオ専用第3会議室</p> <p>3. 勉強会開催予定</p> <p>演題: 化学物質の有害性評価のための in silico 評価技術の現状と活用推進へ向けた課題</p> <p>講師: 国立医薬品食品衛生研究所、山田隆志先生</p> <p>日時: 2018年4月27日 15:00-17:00</p> <p>場所: 協和発酵バイオ東京支店バイオ専用第3会議室</p>
<p>3, 4 月</p>	<p>1. ワーキンググループ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品リスク評価新技術勉強会 (WG2) :             <ul style="list-style-type: none"> <li>① ILSI Europe との動物実験代替推進に向けた協働: EUROTOX 直後の 9/6, 7, Brussel にて開催される WORKSHOP に国衛研から 3 名、ILSI Japan から 3 名をエントリーした。これに先立ち、食品分野のガイドラインが求める動物実験についてのまとめを ILSI Europe に提出予定。</li> <li>② 独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) とのカテゴリーアプローチに関する意見交換会 (5/18) にむけ評価化合物を事前提出した。</li> </ul> </li> <li>・ 食品リスク評価課題解決 (WG3) :             <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 高齢者が摂取する食品の安全性評価: 本テーマの進め方について、中江大理事に相談、その結果を受け、高齢者の定義明確化を目的とする専門家を囲んだ勉強会、食安委評価書からの情報収集や医薬品の事例抽出の可能性を検討することとなった。勉強会には老年医学専門家の桜美林大学鈴木隆雄先生を招聘予定。</li> <li>(イ) GEMS FOOD データベース: 国立健康栄養研国際栄養情報センター長 西信雄先生を訪問しデータベースの活用についてヒアリング予定。</li> </ul> </li> </ul> <p>2. 2018 年度第 1 回部会会議を開催した (4/27)</p> <p>協和発酵バイオ東京支店にて開催。20 名参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ WG2、WG3 進捗報告</li> <li>・ 新メンバー紹介</li> </ul> <p>3. 勉強会開催 (4/27)</p>

	<p>協和発酵バイオ東京支店にて開催。22名参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演題：化学物質の有害性評価のための <i>in silico</i> 評価技術の現状と活用推進へ向けた課題</li> <li>・講師：国立医薬品食品衛生研究所、山田隆志先生</li> </ul> <p>内容：TTC、(Q)SAR、カテゴリーアプローチの基礎から最近の話題まで</p>
5, 6月	
7, 8月	
9, 10月	
11, 12月	